

# サイエンスカフェ「小さくて大きいニュートリノの話」 開催のご案内

開催日程	2017年7月29日(土)
開催時間	15:00～18:00(開場:14:30)
会場	大阪教育大学天王寺キャンパス学園ホール2階会議室
対象・定員	高等学校理科教員、他中学校、小学校、支援学校の理系教員、教員志望の学生、一般 第一部、第二部とも50名(先着順)
参加費	第一部 無料 第二部 1,000円(飲物+お菓子)
テーマ	「小さくて大きいニュートリノの話」 講師: 多田 将 (高エネルギー加速器研究機構・素粒子原子研究所 准教授)
プログラム (予定)	15:00～16:30 第一部 講演「小さくて大きいニュートリノの話」 16:30～17:00 休憩および会場設営 17:00～18:00 第二部 懇親会形式のサイエンスカフェ「終わらないニュートリノの話」
主催	大阪教育大学科学教育センター
申込	下記問い合わせ先まで、または科学教育センターウェブサイト案内ページのお申し込みフォームよりお願いいたします。 <a href="http://cse.osaka-kyoiku.ac.jp/news/sciencecafe2017-1.html">http://cse.osaka-kyoiku.ac.jp/news/sciencecafe2017-1.html</a>
問合せ	大阪教育大学科学教育センター 安積まで TEL/FAX 072-978-3402 E-mail <a href="mailto:asaka@cc.osaka-kyoiku.ac.jp">asaka@cc.osaka-kyoiku.ac.jp</a>

## 講師の多田先生からの メッセージ



われわれの身体はもちろん、この世のあらゆるものを構成する、最も小さな単位、素粒子。その素粒子の中でも、ニュートリノは、光の次に多く存在し最も身近なものでありながら、一方で、最も謎に包まれたものでもあります。その性質については、21世紀を迎えた今でも、ごく限られたことしかわかっていません。

一方で、物理学という教科は、学生さんたちの中でも最も敬遠されるものですが、さらにその中でも素粒子物理学と言うと、その存在自体が、恐らく一般的な学生さんたちからは、最も遠い存在でもあると思います。

本来、全ての自然現象の基本でありながら、つまり最も身近な存在でありながら、しかし学問としては最も遠い存在である素粒子物理学を、素粒子の中でも「遠くて近い」ニュートリノについてお話しする中で、ほんの一端だけでも「身近」に感じていただければ、と思います。